19 日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-46553

@Int_Cl_1

識別記号

庁内整理番号 C - 7712-3C 7712-3C

❷公開 昭和62年(1987)3月20日

3/00 5/00 B 24 D

3 1 0

審査請求 未請求 (全2頁)

劉考案の名称 砥 石

> ②実 昭60-136844

22世 昭60(1985)9月9日

⑪考 案 者 北 林 博 行 寝屋川市早子町2-17

者 ⑰考 案 石 Ш 忠 幸 枚方市藤阪西町5-3-402

①出 願 人 株式会社小松製作所

東京都港区赤坂2丁目3番6号

20代 理

弁理士 米原 正章 外1名

砂実用新案登録請求の範囲

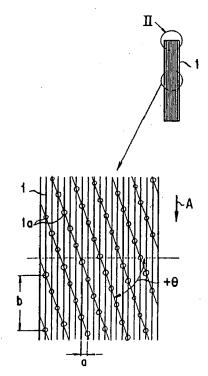
砥石軸方向の砥粒間隔 a が使用する砥粒平均粒 径の2/3以下、円周方向の砥粒間隔 b が使用す る砥粒平均粒径の5~80倍の砥粒分布パターンを 研削面に有する砥石。

図面の簡単な説明

図面はこの考案の一実施例を示し、第1図は一

部を拡大した砥石の正面図、第2図は第1図Ⅱ円 内の拡大図、第3図は砥石軸方向の砥粒間隔と仕 上げ面粗さの関係を示す線図、第4図及び第5図 は円周方向の砥粒間隔と仕上げ面粗さ及び研削比 の関係を示す線図、第6図はねじり角度と研削比 の関係を示す線図である。

第1図



第2図

